

こんにちは！こちらニュージーランドでは日照時間が徐々に短くなり、朝晩冬が近づいてきているのを肌で感じるようになりました。

近所のスーパーマーケットでは、リストを見ながら茶色の紙袋に商品を詰めていく店員さんをよく見かけます。コロナウイルスの流行で需要が大変増えたのがスーパーマーケットのオンラインショッピング(インターネットでの注文)です。スーパーへ行くことが難しい人や、隔離中で自宅待機をしている人など、たくさんの方がこのサービスを利用しています。

私の職場では毎週一度8~10人分の食材、生活必需品をスーパーマーケットで購入するので、時々このサービスを利用します。慣れないうちは注文の仕方に戸惑い、思っていたものと違うものを注文していたり。量り売りのハムが一枚届いた(100グラムのつもり)という友人もいました。インターネットで注文した品物はデリバリー(宅配)かピックアップ(受取に行く)かを選ぶことができます。個人的には特に野菜や果物など直接自分の目で見て、触って購入するのが理想ですが、小さな子どもがいて行くのが難しい、また健康に不安があるなど様々な状況に応じて色々なサービスを上手く利用したいなと感じています。

それではまた来月。See you!
ブース千尋



「レコード見聞録」～後編～

骨董市へ足を運んでも必ずレコードが店頭で並んでいるわけではありません。店頭で積んであるレコードやレコードケースを発見した時のワクワク感は例えようがありません。まるで宝箱を開けるような気持ちです。1枚1枚を目で見て検品して品定めをしていきます。ここで、もうライバルに先を越されたいレコードが抜かれた後かがわかります。そして、ここからが重要なのです。珍しいレコードを発見しても店主の前で口に出したり、顔に出したりしない事です。黙々とレコードを検品しながら店主に1枚いくらかを聞きますが、だいたい店主がその時の気分で値段を決めます。店主には何のレコードが珍しいのかまでは、わからないからです。だいたい店主が「これは美空ひばりで有名な曲だから高いよ」などの知識で販売していますが、美空ひばりだからと言って、何でもかんでも珍しいわけではありません。ヒットして枚数がたくさん出ているからこそ、骨董市や市場にたくさん出てくるので逆に珍しくないのです。また、珍しいレコードを発見しても店主から「まとめて買って欲しい」と言われる事が時々あります。こうなると例えば欲しくもない浪花節や小唄など30枚と欲しいレコード2枚を購入しないといけないという事になります。無事に欲しいレコードを購入して帰宅したら、まだ作業が残っています。レコードは何十年という間にほこりをかぶっています。このまま、レコードの溝に針を落として聴くと針もレコードも傷んでしまいますので1枚1枚をお湯で手洗いして半日、乾燥させます。その半日は本当に待ち遠しいです。そして、乾いたレコードに針を落とし、何十年の時を超えて時代に埋もれた声なき声が蘇るのです。 ミントの家 山根 徹

昭和レトロコンサート

時代を彩った戦前・戦後のヒット曲の数々をお楽しみ下さい
歌謡曲の父 古賀政男 永遠の古賀メロディー

「誰か故郷を想わさる」「りんどう峠」「悲しい酒」

日時 三月二日(ケアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三十分~十五時

三月二十三日(シニアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三十分~十五時

懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください

【会費】 三〇〇円(お茶代・資料代)

【お問い合わせ】山根(ミント) 中村(ケアハウス)



たんぽぽ通信

3月1日発行 181号
ケアハウス王喜の郷 令和4年3月号

ホームページ <http://www.ryokujyukai.jp>

私達の身の回りから様々な躰や風習が消えてしまいました。先日ヘルパーの家事支援について行政から連絡事項があり、内容に驚きました。保険サービスでの洗濯の仕方に留意してほしいとの利用者のご希望があったとのこと。訪問介護のサービスの一つに家事支援があります。「自立支援」ですから利用者の方々の能力に応じて支援します。洗濯ものを洗濯機に入れる前にほこり払ったり汚れの状態を見てから入れてくれるように。洗剤は別に溶かすか、洗濯機の洗剤を入れるところから入れてくれるようにと要望があったとの事でした。

躰として身につけていることが世代によって異なっており、「あたりまえ」「当然」が全くそうでないことの多い今日この頃です。家事はコマースが商品で教えているのかしらと思われる世の中の現状ですから。ご利用者からの洗濯の御指摘は大変もつともです。私もヘルパーに支援してもらうようになりましたら、私の生活の方針を知ってもらいたいと思います。質素に無駄なく丁寧に。それはなにも「あたりまえ」でもないし、そうしてもらえば私が嬉しいからです。様々な考え方や価値観を持った人達と一緒に生きていくときに、互いのそれらを尊重し、折り合いをつけないと生きづらくなってしまいます。自分はこうして欲しいとおっしゃるのもストレスを貯めないひとつでしょうか。 施設長 末谷千秋

3月のお誕生日 & 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 昭和レトロコンサート (ケアハウス)	3 桃の節句	4	5 啓蟄
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18 13:30~ ビューティヘルパー	19
20	21 春分の日	22	23 昭和レトロコンサート (シニアハウス)	24	25	26
27	28	29	30	31		

*誕生日: お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。
 ***ビューティヘルパー: 出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。
 ****イズミ行き: 午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。
 *****レトロコンサート: 午後1時半~3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。
 ☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のグループホーム。同じ内容です。参加費300円
 ****ななの会(習字)はお休みさせていただきます。

ケアハウス王喜の郷

ようやく春の兆しを感じられる頃になりました。3回目のコロナワクチン接種も済み、ホッと安堵されておられるかと思えます。しかしまだまだマスク着用、手洗い、うがい等の対策を宜しくお願い致します。また、マスクの着用を忘れていらっしゃる方を見られましたら「マスクをしましょう」と優しくお声をかけて頂けると幸いです。

ラジオ体操についてですが、以前に比べ多くの方が参加されるようになりました。朝は冷たく寒いですが、皆で体操をして気持ちよく1日をスタートしましょうね。



介護職員 中村ひふみ

ケアハウス王喜の郷(厨房)

国際女性の日3月8日は女性への愛と敬意を称える日です。毎年3月8日にはベトナム人男性が周囲の女性に有意義な贈り物や花を贈ったり女性へのねぎらいを込めてロマンチックなパーティーを開催したりします。女性生は常に困難に苦しみ静かにせいを払い幸せな家庭を築くために苦勞しています。そのため365日女性生は他の半分からより多くの注意とそんけいに値します。中国、タイなどのいくつかの国では3月8日は女性生が経馬した困難を補ったために女性を称えるための今年、の主要な休日でもあります。

厨房 レーティ ウェン

王喜の郷デイサービスセンター

デイサービスでは、七段のおひなさまが飾ってありますので、皆さま是非デイに立ち寄ってご覧ください。

3月14日に第3回王喜小学校4年生とのリモート(テレビ電話)交流会があります。2回目はテレビ電話が繋がらず子供たちと直接話しをすることができませんでしたが、DVDを見ていただきました。

今回は、子供たちも、利用者の皆さんに元気な姿を届けたくて色々な事を考えてくれています。

皆さまの多数のご参加をお待ちしております。



介護職員 百田 法江

グループホーム王喜の郷

2月は厳しい寒さが続きましたが、寒さもようやく和らぎ春の陽気を少しずつ感じられるようになりました。

2月3日の節分の日には職員が扮した赤鬼・青鬼に新聞紙を丸めて作った豆で豆まきを行いました。

最初は恐る恐るの豆まきでしたが、最後は「鬼は外！福は内！」と大きく声を出してされていました。

今年、グループホームでは、近隣の方より立派なひな人形をいただきました。七段のひな飾りで、入居者の皆さんと職員がひな祭りの思い出を話しながら、飾りつけを行いました。完成したひな段を見て、「立派やねえ、きれいねえ」、「ちらし寿司が食べたいねえ」、「桜もちも良いねえ」と言う声が聞かれました。

3月3日のひな祭りには、ささやかな行事を企画中なので、楽しみしにされていて下さいね。

介護職員 田中 美優

王喜の郷居宅介護支援センター

介護保険の利用には要介護・要支援認定が必要です。認定期間がありますので、更新手続きも必要です。私たちケアマネは下関市役所から委託を受け、認定調査員として訪問調査を行っています。

訪問認定調査は公正かつ的確に調査項目を調査、実施しなければなりません。日頃の状況について、確認事項や聞き取りが適切に行えるよう令和4年2月に認定調査員の研修を受けました。調査はコミュニケーションの取り方も大切で、勉強になりました。

毎月訪問時のモニタリングにも役立ちます。利用者の方としっかりコミュニケーションを取り信頼関係を築いていきたいと思えます。よろしく願いいたします。



介護支援専門員 田邊 美江

王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか

在宅にて訪問サービスを利用されている方の声で「緊張の訪問介護」という記事を読みました。

『自宅に他人が来ると思うと気を使い、身なりを整え、片付けや掃除をして待っている。ヘルパーが来る前夜は眠りが浅くなる。ヘルパーが来る日は日常ではなく特別な日。』と書かれていました。

ヘルパーが訪問することで、利用者や家族の方のストレスがあることは感じてはいましたが、改めて考えることができました。ご自宅で生活するために必要な支援が生活の支障とならないように、支援内容、利用者やご家族への接し方等見直していきたいと思えます。ヘルパーが訪問することが日頃と変わらない日常となるような関係を作れていけたらと思えます。

何かありましたら遠慮なくご相談下さい。

サービス提供責任者 下森 真理子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

2月の行事で利用者の皆さんと一緒に「しっとりガトーショコラ」作りを行いました。

チョコレートを砕いたり、卵を割ったり、お一人お一人に出来ることを手伝って頂きました。

中にはキッチンに來られ興味深そうに見られたり、男性の方もお手伝いして下さり一言「参加する事に意義あり」他の方からも「自分らが作ったのは美味しい」「甘味がちょうどいい」といろいろな感想の声が聞かれました。衛生面・安全面・コロナ対策に気を配りながら行いいつもとはまた違った雰囲気でおやつ作りを喜んで頂けたと思えます。



介護職員 上杉 加代

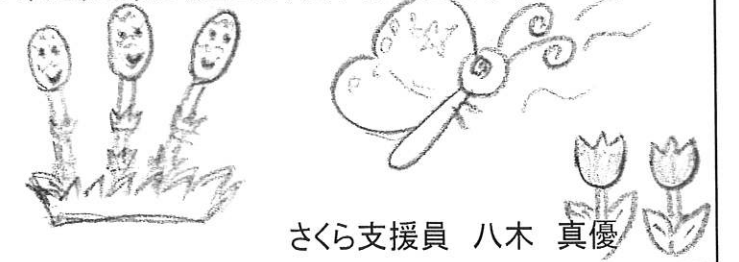
放課後等デイサービス さくら

さくらでは2月3日に豆まきを行いました。当日の豆まきに向けて1月下旬から豆を入れるためのカップの製作を始めました。

製作過程は同じでも、それぞれ違った表情の鬼になり1人1人の個性を感じる作品になりました。

節分当日は、職員が鬼に扮装し、豆まきを行いました。怖がって固まってしまう子、正々堂々と鬼に正面から豆を投げる子など、子ども達で協力して鬼を追い払うことが出来ました。

豆まき後は、皆で年の数ほど豆を食べ、鬼のお面をついたり楽しく過ごし、良い思い出となりました。



さくら支援員 八木 真優